



発行日
平成27年9月3日 第102号
林野庁 北海道森林管理局
釧路湿原森林ふれあい推進センター

夏の学校林活動

8月26日(水)、標茶町立中茶安別小学校の学校林「るんるんフォレスト」で「夏の学校林活動」が行われ、当センターも参加しました。

全員集合したところで、担当の先生から、活動内容と注意事項の説明がありました。

今回の活動は、小学1～3年生のグループが「萌芽更新作業」、小学5・6年生と中学生のグループは、昨年に続いて、地図作りのための「測量」です。

注意事項では、熊と蜂の話がありました。

中茶安別地区では、熊の目撃情報があり、中止になった学校行事もあるそうです。

また、先週、学校林の草刈りを行ったところ、スズメバチの巣を発見したそうので、教頭先生と校務補さんに案内してもらい、当センター職員と協同で、地中であつた巣を事前に駆除したとこ

「萌芽更新作業」グループ

テーマは、「引き継がれる生命」。ミズナラを題材に、発芽や萌芽を学習します。

「木を育てるために木を切る」この意味が分かるかな。と先生の声も聞こえてきました。

【種から】

昨年の秋にミズナラの種子(ドングリ)を埋めた箇所まで、発芽して生長しているのを確認しました。

実際には、リスやネズミが関わって発芽することになります。

【切り株から】

切り株を見ると、切り株から芽が出ている樹種と、何も出ていない樹種があります。

ミズナラの切り株からは、たくさん芽が出ていて、その芽が生長し小枝のようになっています。

ミズナラには、種↓発芽 以外にも仲間を増やす能力があるのです。

ただし、このまま放置しておくとし長くと、ひ弱な木になってしまふので、「芽かき」といって、太くて丈夫な物を残すように、切つて本数の調整をします。

残す萌芽を決めて、ノコギリを使い「芽かき」の実践です。

これが「木を育てるために木を切る」です。



ミズナラの切り株 (萌芽がいっぱい)

「測量」グループ

こちらは、昨年と同じ作業なので、みなさん慣れた手つきで、測量機器を扱っていきます。

今回、測量するのは散策路。

学校林には、動物名が付けられた散策路が数線ありますが、池の畔にあるツリハウスに通じる、2路線を2組みに別れて測量です。

名前には、「キツネの道」と「タヌキの道」。なんだか化かされそうです。

森林の中の道なので、くねくねと曲がり、坂道があり、場所によっては、立木や枝で見通すことができない場合があります。

これらを考慮して、測点を決め、測量を進めます。

実際に、距離や坂道の傾斜を測つてみると、思っていた数字と違っているようです。「えっこんなにあるの。」と声が聞こえます。(化かされましたか?)

さて、「タヌキの道」を測量しながら進むと天狗の姿を確認!

学校林も天狗の出る霊峰と呼ばれるような山になったのかと思いきや、少し様子が違うようです。

天狗といえ、鼻が高く赤ら顔のはずですが、この天狗は、褐色で白いイボがついています。(分かりました?)

天狗の正体は、「テングタケ」。キノコ凶鑑等で、お馴染みの毒キノコでした。

両グループとも、予定した時間内に作業を終了できました。

手入れをしたミズナラの生長と測量の成果が楽しみです。

次回は、10月に「秋の学校林活動」が予定されています。

中茶安別小学校のみなさん。また、お邪魔しますね。

お知らせ

9月には、大きな連休がありますね。また、秋のイベントが方々で行われるようです。

皆さん、休日の予定は、お決まりでしょうか。

ご参考までに、当センターが参加するイベントをご紹介します。



9月12日(土)・13日(日)、白糠町白糠南通り商店街(ハミングロード)を歩行者天国にして、第23回 しらぬかカミパレードが開催されます。このイベントには、白糠町の皆さんによる露店やフリーマーケットが会場に並び、楽しいアトラクションが行われます。

この「カミパレード」に、「釧路湿原森林ふれあい推進センター」は、2日目の9月13日(日)に参加します。

ブースには、木工工作を楽しんでもらえるよう準備をしてお待ちしております。

是非、お立ち寄り下さい。

この木なんの木

8月には、お盆がありましたね。休みを取り、楽しい時間を過ごされた方も多いのでは。

お盆といえは、お墓参りや、ご先祖様をお迎えするの(精霊馬)きゅ

うりの馬、なすびの(牛)を作り、迎

え火や送り火をしますよ。幽霊を見た等

また、テレビで、暑いお盆のころ

恐怖体験をしたら、暑いお盆のころ

が放送されるのも、暑いお盆のころ

です。今回は、不思議な木のお話を。

その木の名前は、衣領樹(いりょうじゆ)と

ご存じでしょうか。樹木図鑑等に載っていま

せん。写真も古いようです。

ただ、古い絵巻物や、掛け軸に、

この木が描かれていました。掛け軸に、

はるか昔に絶滅した樹木でしょうか？

絵によって、多少違いがあります

が、川べりに単木(1本)で生えて

いて、葉の形や樹形から、広葉樹のよう

それは、「あの世とこの世」の境界。川の名前は、三途の川。

なのお、衣領樹の傍らには、奪衣婆

(だつえば)という老婆がいて、亡

者の衣類を剥ぎ取るそうです。

剥ぎ取った衣類は、衣領樹の上に

いる懸衣翁(けんいおう)という老

爺が、衣領樹の枝にかけ、その枝の

垂れ具合で亡者の生前の罪の重さを

計るのだそうです。川の近くに生え

ていて、広葉樹で、川の近くで生え

る木とは、いっただいな木でしよ

うか？ 釧路周辺の川べりの木だと、ヤナ

ギ、ハンノキあたりでしょうか。ヤナ

ちなみに、仕事で川沿いの森林を

歩くこともあり、ヤナギやハンノキ、

そのほか多くの木を見るときは、

枝の姿は、今がところ見たことがあり

ませぬ。

今後の予定

*カラマツ球果の成熟度調査

*野生生物自動撮影調査

*9月16日(水) 第3回 電別ドングリ倶楽部

*管内の自然情報の収集や情報提供

を行ってまいります。下記の内容へ

ご覧下さい。



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【FAX】0154-41-7305

【E-mail】h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp

【URL】http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html



当センターは、国有林をフィールドとして、北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取組むNPO等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。